

和と 競る タタの 演

コレオグラファーの目 vol.15
足袋nce@能楽堂



コンテンポラリーダンスと日本の古典芸能の
コラボレーション・シリーズ第2弾!

狂言師+コンテンポラリーダンスで演じる狂言「梟山伏」と、
9つのコンテンポラリーダンス作品を上演。

時代を超えた創作の源流を、能楽堂に見る!

2016年10月10日(月・祝) 午後3時開演(午後1時30分開場)

こしがや能楽堂

〒343-0015 埼玉県越谷市花田6-6-1 Tel.048-964-8700

チケット:全席自由 2,500円

チケットお取り扱い:こしがや能楽堂、越谷コミュニティーセンター(サンシティ)チケットカウンター、埼玉県舞踊協会、コレオグラファーの目実行委員会

特典

- ・本公演チケットにて、隣接の日本庭園(花田苑)への入場無料!
- ・お抹茶(お菓子付):300円(開演前 先着30名様)
- ・アロマリラックスハンドトリートメント:無料(開演前 先着8名様)

主催:埼玉県舞踊協会 / 「コレオグラファーの目」実行委員会

後援:越谷市、越谷市教育委員会

お問合せ:「コレオグラファーの目」実行委員会

e-mail:saidance_work@yahoo.co.jp

埼玉県舞踊協会事務局

<http://www.saitamaken-buyoukyokai.jp/>

Tel.048-882-7530(月・木曜 10:00~15:00)



足袋を履き
宙を舞う
ラララララ
足袋nce
ララララ

和とモダン の競演

コレオグラファーの目
足袋 n c e @ 能楽堂

2016年10月10日(月・祝) 午後3時開演(午後1時30分開場)
こしがや能楽堂

コレオグラファーの目

2006年より埼玉県舞踊協会が企画して始まった、若手・中堅舞踊家による低予算で行うダンスパフォーマンス。異なる分野とのコラボレーションの他、パフォーマンス会場の発掘や地域文化への浸透を試みる。毎年1~2回、埼玉県立近代美術館他、県内のユニークなスペースで開催。「コレオグラファー」とは振付師のことで、「目」には「芽」と「視点」というふたつの意味を込めて名付けられた。

プログラム

- ① 能楽堂とコンテンポラリーダンスの素朴な問答
- ②~⑩ 社会、自然、人間の本質を鋭く切り取ることをテーマとする、コンテンポラリーダンス作品
- ⑪ 狂言「梟山伏」 山伏: 深田 博治 / 兄: 飯田 豪 / 弟: 藤井 彩加 / 憑りつかれた者たち: 江積 志織、小川 麻里子、榎川 真理子、笹村 泉、高橋 美喜子、谷 乃梨絵、幕田 晴美、若野 信子

出演者プロフィール



深田 博治(ふかた ひろはる)

狂言師。1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター講師を勤めるほか、早稲田大学、東京女子大学、共立女子大学の狂言サークルを指導している。



飯田 豪(いいた ほう)

狂言師。1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。

板垣 明日香(いたがき あすか)

5歳よりクラシックバレエを始める。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース卒。

榎川 真理子(かじかわ まりこ)

若松美黄、津田郁子に師事。若松・津田自由ダンスカンパニーの公演等に参加しながら自己の踊り、創作に励んでいる。他多数の作品にも積極的に参加。2015年「シュニョケさんこんには」(自作)、2016年「Piano×Dance」のコンサート参加。

笹村 泉(ささむら いずみ)

幼少より中村友美、上田仁美に師事。上田仁美モダンバレエスタジオ所属。ステージワン公演参加。現在、立教大学文学部文学科日本文学専修3年生。古典に興味をもち中世文学について学びながら大好きな踊りを続けています。

高橋 美喜子(たかはし みきこ)

3歳から新体操を始める。幼少期、バレエを習いたいとの思いから中村友美に師事。中学から再び新体操に打ち込む。日本女子体育大学卒業。現在稲吉優流に師事。MEVIUS JAPANメンバーとして参加した、ダンスグランプリヨーロッパ2016にてグランプリ獲得。

たけだ 有里(たけだ ゆり)

稲葉厚子、田中真紀に師事。日本大学芸術学部洋舞コース卒業。芸術学部長賞、ダンスプラン賞など他多数受賞。現在に至る。

谷 乃梨絵(たに のりえ)

埼玉で舞踊指導を始めて30年。節目を迎え、踊る子達の生き生きとした姿に囲まれながら前向きに歩む事ができたら幸せ。

コレオグラファー・プロフィール



上田 仁美(うえだ ひとみ)

幼少より中村友美に師事、1987年藤井公、利子に師事。琉球舞踊を川田禮子に師事。2006年全国舞踊コンクール創作部門第1位 文部科学大臣賞、東京新聞大賞、他。2008年文化庁在外特別研修員。現在、越谷市他にてモダンバレエ教室を主宰。



江積 志織・高橋 純一・江尻 美由紀(えづみ しおり・たかはし じゅんいち・えじり みゆき)

藤井公・利子、上原尚美の元で踊りを学ぶ。能楽堂の空間に惹かれた三人が、人とその空間を結びつける踊りに挑戦する。



小川 麻里子(おがわ まりこ)

谷乃梨絵モダンダンススタジオ所属。平成24年度ダンスプラン賞受賞。2015年 International dance festival in Spain グランプリ受賞。DCアワード創作部門第1位。



金森 みずほ(かなもり みずほ)

6歳よりクラシックバレエを始める。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース卒。2009年~現在、原島マヤに師事。



小林 和加枝(こばやし わかこ)

和加枝舞踊研究所主宰。小林和加枝ダンス展 '93LIFE、'96~鳥の来る道~、'06空白の旅の話を発表。その他海外や仏園公園等県内外で多数の作品を発表。



佐藤 優子(さとう ゆうこ)

幼少より原島マヤにモダンバレエを師事。20歳を過ぎた頃から地道にコツコツ自作を発表。最近は演劇界に片足を入れたりだしたり。現実と非現実をいったりきたりしています。



藤井 香(ふじい かおり)

藤井公・利子に師事。東京創作舞踊団を経て、現在、彩のくに創作舞踊団主宰。1988年ローザンヌ国際新人振付家コンクール・ベジャール・バレエ・ローザンヌ賞、埼玉国際創作舞踊コンクール最優秀賞。主な作品に「風」帰る「きのこのレシビ」等がある。



文月 玲(ふづき けい)

熊谷市出身、間瀬バレエスタジオでバレエを始める。宝塚歌劇団で研鑽を積み、退団後、地元でバレエスタジオを開く。タカラジェンヌを9名送り出している。

アクセス:こしがや能楽堂 〒343-0015 埼玉県越谷市花田6-6-1 Tel.048-964-8700

【交通】・東武スカイツリーライン 越谷駅東口 北側ロータリーより 花田循環又は市立図書館行きバス「花田苑入口」下車徒歩3分

・東武スカイツリーライン 新越谷駅/JR武蔵野線 南越谷駅 北口ロータリーより 花田行き又は市立図書館行きバス「花田苑入口」下車徒歩3分

【駐車場】こしがや能楽堂・花田苑共同駐車場があります。(合計で104台) 駐輪場併設。

※駐車場には限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共の交通機関をご利用ください。

プログラム最後に、観客の皆さんと、足袋nce体操
www.youtube.com/watch?v=L3jlwPMZmck
を踊ります。足袋ご持参の方は能舞台上で踊れます!